

産地生産基盤パワーアップ事業都道府県事業評価報告書

都道府県名 岡山県

| 地域協議会名     | 地区名          | 取組主体名              | 対象作物名      | 事業実施年度 | 目標年度 | 成果目標            | 現状値            |                |                | 実績             | 価格補正後の(R2年度)                | 事業内容<br>(工種、施設区分、構造、規格、能力等) | 達成率(%)   | 地域協議会等の評価  | 都道府県の評価 |
|------------|--------------|--------------------|------------|--------|------|-----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-----------------------------|-----------------------------|--|--|---------|
|            |              |                    |            |        |      |                 | (H28年度)        | (R2年度)         | (R2年度)         |                |                             |                             |  |  |         |
| 真庭市農業再生協議会 | 真庭市(北房地区を除く) | 晴れの国岡山農業協同組合真庭統括本部 | 施設野菜(トマト)  | H29    | R2   | 販売額の10%以上の増加    | (H28年度)        | (R2年度)         | (R2年度)         | (R2年度)         | 【資材】<br>パイプハウス 3棟 1,749㎡    | 94.7%                       | 梅雨明けが例年に対して大幅に遅れたため日照不足により出荷量の大幅な回復はならず目標とする出荷量には届かなかった。また、生産者の高齢化や労働力不足に伴う面積減少が見られた。一方で、単価については全国的な供給減、コロナウイルスの影響から果ごもり需要が伸びた影響から高単価で推移した結果、目標を概ね達成することができた。今後、地域内には面積拡大に意欲的な若手就農者が数名いるとともに、令和3年度には新規就農者1名も予定している。引き続き、普及指導センターをはじめ関係機関の連携・指導の下、日照不足対応として微量要素の葉面散布の周知徹底を図る。さらに、水及び肥培管理の指導並びに着花不良、裂果の減少を図り、反収の増加を目指すとともに、面積拡大に向けたフォローアップを行う。 | 梅雨明けが例年に対して大幅に遅れたため日照不足により出荷量の大幅な回復はならず目標とする出荷量には届かなかった。また、生産者の高齢化や労働力不足に伴う面積減少が見られた。一方で、単価については全国的な供給減、コロナウイルスの影響から果ごもり需要が伸びた影響から高単価で推移した結果、成果目標は概ね達成した。面積が減少していることから、地域内の若手生産者を中心に、面積拡大に意欲的な生産者に対し単果事業の活用を推進し、面積拡大を後押しする。また、JA、部会、普及指導センター等関係機関が一体となって連携し、水及び肥培管理の指導並びに着花不良、裂果の減少を図り、反収の増加を支援する。 |         |
|            |              |                    |            |        |      |                 | 2,643,351円/10a | 2,965,346円/10a | 2,701,538円/10a | 2,948,433円/10a |                             |                             |  |  |         |
| 津山市農業再生協議会 | 津山市          | 晴れの国岡山農業協同組合津山統括本部 | 露地野菜(しょうが) | H30    | R2   | 集出荷コストの10%以上の削減 | (H28年度)        | (R2年度)         | (R2年度)         | (R2年度)         | 【機械リース】<br>洗浄機 1台<br>包装機 1台 | -246.5%                     | 生産者の減少、高温乾燥の影響等により、作付面積、反収ともに目標を達成できなかった。また、選果場の運営経費は、市場や小売り先の規格に対応するため選果工程の効率化が進まなかったため、パート雇用の人件費を削減できず、目標が達成できなかった。選果ラインの見直しによる人件費の削減等により選果場のコスト削減を目指す。また、関係機関による栽培説明会や栽培経費支援により、生産者への作付拡大と新規栽培者の確保を図るとともに、チューブ灌水の導入推進をはじめとした高温乾燥対策に取り組むことで、生産量増加の取組を推進していく。   | 面積減少に加えて、梅雨が長引いた影響による初期生育の不良、肥大期に高温乾燥が続いたことにより生産量が減少した。販売先の規格対応により人件費が多く発生し、選果コストの削減目標を達成できなかった。作付面積増加のため、JA・市・普及指導センターが連携し、主に定年帰農者を対象にした栽培推進記事の掲載等を行い、担い手育成・確保・育成を行う。収量の向上のため、栽培講習会の開催や、巡回指導を通じて栽培技術の向上を図る。   |         |
|            |              |                    |            |        |      |                 | 187,726円/10a   | 167,306円/10a   | 238,060円/10a   | —              |                             |                             |  |  |         |